

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年8月25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社シスコム
所 在 地	〒801-0805 福岡県北九州市門司区太刀浦海岸19番
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 岩永 満宏
担 当 者 連 絡 先	電 話： 090-7294-7965
	メー ル： info@syscomhouse.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.syscomhouse.com

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、1988年3月に創業し、コンピューターシステム開発業（情報通信業）を営んでおります。1996年8月より太刀浦コンテナターミナル（ストラドルキャリア方式）において、コンテナ蔵置管理を行うコンテナターミナル統合管理システムを提供しています。その後、5～6年毎にシステムをアップデートし、2023年4月に第6世代 TACTOS（通称：タクトス）を提供しました。また、広島国際港コンテナターミナル（最初はストラドルキャリア→現在トランステナー）においても同様のコンテナターミナル統合管理システムを提供しており、2024年10月に第4世代 HiDECS（通称：ハイデックス）を提供予定です。
--

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	弊社の生業であるコンテナターミナル統合管理システムを顧客に提供することで、現場で稼働するトラックやストラドルキャリアのCO2排出量を削減します。同時にコンテナターミナル統合管理システムを操作する導入先のセンター人員が従事する作業時間を短縮します。	コンテナターミナルに海上コンテナを搬出入するトラック渋滞緩和による燃料消費量削減 【目標】導入前後で燃料消費量1%削減 コンテナターミナルのストラドルキャリアのコンテナ1本あたり荷役平均作業時間を削減 【目標】導入前後で平均時間18%削減 システムを操作するセンター人員の作業時間（のべ時間）を短縮 【目標】導入前後でのべ時間3割削減
□環境 □社会 □経済		

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	雇用、教育、昇進、登用、福利厚生等あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、その運用に経営陣が積極的に関与している(取締役を相談窓口とし、適宜社員教育を実施。)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント問題について、顧問弁護士に相談できる体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる									8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外国人労働者に対して、随時差別、人権侵害が発生していないかを確認している。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	事務所外作業での事故防止のため、作業前の段取り確認や装備確認を実施している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年2回の目標・育成面接において、各労働者の問題点や事情を面接者と共有し、その内容は取締役会で報告を受ける体制を構築している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	多様な人材が活躍できるよう、短時間勤務や適切な職場への人員配置に取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	職務や役職に応じた外部研修の受講、通信教育受講を希望者に会社が受講費用を支給(資格取得費用は一部補助)				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	目標・育成面接の結果から、賃金制度にのっとり、公平な賃金を決定している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	毎年健康診断を実施し、検査注意事項や問題があった場合、上長、取締役へ情報共有および対策の打ち合わせを実施している。			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・法令に遵守した分別を含む廃棄物処理を実施している。 ・パソコン等のデータを含む機器の廃棄に際しては、資格を有する廃棄事業者に委託している。											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	環境に配慮したサービスの提供を通じて、生物多様性保全に配慮している。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	自社社屋に節水型トイレなどを設置している。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	100年以上前に米国印刷工場で使用されていた木製柱を社屋のフローリング材として再利用したり、エコ資源再利用となる素材の壁紙を使用したりしている。												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	弊社が提供する製品・サービスが顧客の業務運営に直結するため、長年蓄積したノウハウと顧客からのフィードバックから顧客から支持される製品・サービス作りに特化してる。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	弊社が提供する製品・サービスが顧客の業務運営に直結するため、その品質維持を徹底し、保守サポート支援を行っている。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ETC装置などのアウトリソースを利活用するシステムを提供 ・弊社が提供する製品を利用する顧客の周囲の異業種事業者との接続を組み込むことで顧客の不要な投資をさけたり効率化をあげている。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	弊社が提供する製品は、働き方改革、CO2削減、作業効率化向上、少子化対策、場外トラック渋滞解消に寄与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	弊社提供の製品・サービスが、顧客および業界全体にDXを推進する影響を理解し、お客様業務運用の高効率化が市場全体に影響を与える価格高騰を抑制できる。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ロータリークラブに所属して清掃活動や青少年育成ボランティア活動に参加している。 ・地域イベント等の寄付を行っている。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	自社特許を地域資源と捉え、特許を最大限活用した製品・サービス作りを行い、全国に販路を拡大（地産外商）する。								8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・基本理念五カ条を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	社内会議で法令遵守(コンプライアンス)の重要性を定期的に話題として取り上げ、全社員で共有している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	少人数体制で業務を運用しており、代表取締役を責任者として体制を管理している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	代表取締役がメインの顧客やその顧客が関わる業界団体、そして金融機関と対話して事業を推進している。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	基本理念五カ条にCSRの取組が定義され、朝礼にて全スタッフで唱和している。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	事故、災害、ハッキング等に備えたバックアップ体制を整備している。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	統括部門長にその任を付託している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	福岡県北九州市門司区太刀浦海岸 1 9 番
名 称：	株式会社シスコム
代 表 者：	岩永 満宏
登録年月日：	令和 6 年 9 月 3 0 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	弊社の生業であるコンテナターミナル統合管理システムを顧客に提供することで、現場で稼働するトラックやストラドルキャリアの CO2 排出量を削減します。同時にコンテナターミナル統合管理システムを操作する導入先のセンター人員が従事する作業時間を短縮します。	コンテナターミナルに海上コンテナを搬出入するトラック渋滞緩和による燃料消費量削減 【目標】導入前後で燃料消費量 1%削減 コンテナターミナルのストラドルキャリアのコンテナ 1 本あたり荷役平均作業時間を削減 【目標】導入前後で平均時間 18%削減 システムを操作するセンター人員の作業時間（のべ時間）を短縮 【目標】導入前後でのべ時間 3 割削減	ガントリークレーンの脚部にストラドルキャリアに搭載した ETC 装置を自動読取をする DSRC アンテナを設置（実証試験局登録）し、ガントリークレーン下に到着したストラドルキャリアの作業照合が自動判定できるようになった（100%）。現在、2 段階蔵置ロジックを本番環境に実装するためのプログラム調整を実施中（60%）。
□環境 □社会 □経済			